

令和5年度 第10回 豊田市稲武地域会議全体会 会議録

日時：令和6年1月18日（木）午後7時00分～7時55分

場所：稲武支所 団体会議室

出席者

委員：石橋佳子、大島年春、小木曾良弘、河合辰朗、土屋桂子、長江倫常子、新美広高、西尾昌直、松原尚矢、三江元博、深見友和、櫻井麻紗子

（欠席者）：安藤直人、海野浩、中拓二、松井克悟、安江一眞

事務局：杉山支所長、岡部副支所長、柄澤副主幹、鈴木担当長、安藤主査

（概要）

1 開会・豊田市民の誓い

2 会長あいさつ

▶新年のあいさつを行う。また、新年早々、能登地震、日航機の事故があり、多くの被害者出た。追悼の意を込め、黙とうを行う。

3 松原市議あいさつ（欠席）

4 報告事項

（1）第4次豊田市森づくり基本計画に関する答申についての検討結果について

▶検討結果について市の考え方を報告

（2）地域会議委員の選挙運動制限について

▶地域会議委員として選挙運動についての注意事項を周知する

5 協議事項

（1）地域会議委員の役割・協議事項の変化に関するヒアリング

○わくわく事業審査の切り離しによつての地域会議の負担は軽減されたか

・事業が減つたことにより負担は軽減されたといえる。

・稲武の地域会議委員であり、委員も稲武のために参加している、わくわく事業は稲武のために行われている事なので、地域会議委員として関わってきたい。

○諮問答申により、市長や副市長との意見交換の機会が持たれたがどう感じたか

・意見交換が行われたことは良かった。答申に限らず、その他の事項について意見できたのは良かった。

・市長の意見はすぐに反映されるのか。

○幅広い世代に地域会議委員になってもらうには、どの様な手段が必要か

・地域会議委員のことを住民に知ってもらう必要がある。また、委員の業務を知らない方がいる。

・稲武の地域会議は、それなりの世代の人が集まっていると思う。

・高校生や大学生の意見を聞くことが必要。

・若い世代が参加する会議

○諮問から答申まで地域会議は何回必要か

・今回の答申は、答申日が決まっており、そこに間に合わせるように作り上げた。実際、稲武地域として、

どこまで、詰めれたのか疑問な点はある。

・答申内容にもより、何回必要かというのは分からない。内容によって少なくて済む場合もあれば、1年では出来ない案件もあると思う。

・答申日を先に決めておくのではなく、答申内容ができた段階で市に答申した方が、しっかり協議したものができると思う。

○その他

・諮問は地域にあったものを行ってほしい。稲武のために地域会議委員が集まっており、稲武の地域のごとで協議したい。豊田市全域の話になると意見しにくい（気に入らない・・・）

（2）今後の稲武地域会議協議案件について

▶今後の地域会議での協議事項についてご意見を伺いたい。どのような事を協議していくのか、次回の地域会議で意見交換したいと思いますので、考えて置いてください。

5 その他 各委員からの連絡

▶いなぶ観光協会より：2月3日雪み街道・お雛さんが開催されます。

社会福祉協議会：1月25日稲武の福祉を考える会を開催します。

▶事務局：R6 わくわく事業の募集実施中

次回の地域会議で JAF から提案があります。

次回：令和6年2月15日（木）午後7時00分から